

# 学校だより No.10

## ☆大きな行事が終わりました。

### 1年生「榛名高原学校」 5月26日（金）～28日（日）

高原学校は中学校に入学して初めての大きな行事であり、3年間を通じても大きな思い出となる行事の一つです。天候は今一つでしたが、中学生になって初めての大きな行事に元気に取り組んでいました。特に、初日の開校式の校歌の歌声が素晴らしかったと聞き、4月当初と比べ、成長したことを感じました。帰って来て、皆さんが一生懸命に作った「高原学校新聞」もとても良くできていますね。



### 2年生「職場体験学習」 6月20日（火）～22日（木）



2年生の「職場体験学習」は、地元を中心に49箇所の事業所や店舗にご協力いただき、3日間の職場での体験をさせていただきました。知りた職業、なりた職業等、しっかりと学習し、当日に臨みました。また、2年の先生方が丁寧に指導し、事前の職場の方への依頼や打合せも生徒自身できちんに行えていました。事前の準備と本番の3日間の貴重な体験を通して、働くことの大変さや良さなど、大事なものを得られたのではないかと思います。将来、体験した職種に就くとは限りませんが、自分の将来を考える良い体験になったと思います。

### 3年生「修学旅行」 6月18日（日）～20日（火）

中学校生活の思い出として一番心に残るのが、この奈良・京都の「修学旅行」だと思います。梅雨の時期でしたが、天候に恵まれ、とても暑い3日間でした。

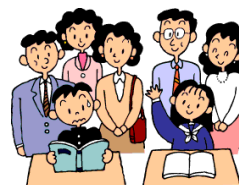
今まで行ったことのない土地ですから、しっかりと学習し、交通機関を調べ、計画をしっかりと立てましたが、それでも思うようにいかないことも多かったと思います。しかし、班員と協力し、気持ちを一つにして行動した3日間は、何物にも代えがたい素晴らしい思い出になったことでしょう。



## ☆学校公開 ありがとうございました！

6月23日(金)は学校公開日でした。たくさんの保護者の方や地域の方が来校していただき、皆さんの授業を見ていただきました。来ていただいた人数は、なんと150名以上でした。すごいですね。こんなにたくさんの方に来ていただき、本当にありがたいと思います。

皆さんには、これだけたくさんの方々に見守られているのだということを感じてほしいと思います。仕事等で来られなかった方々も含め、たくさんの方々を支えていただいているのだということをお忘れず、これからも努力してほしいと思います。



## ☆きまり(ルール)を守ること

「スマホOK」「音楽プレーヤーOK」「ゲームOK」「お菓子を持ってきてもいい」「授業開始時間は守らなくてよい」「どんな服装でもOK」

もし、南中がそうになったら、皆さんは、しっかりと毎日、勉強や部活動に打ち込むことができるでしょうか。気が緩(ゆる)んで遊んでしまうかもしれませんね。



社会で働くようになれば、好き勝手は許されないし、そんなことをしたら首になります。まだ心が完全に育っていない中学生。半分大人、半分子どもの皆さんが、「自分自身でしっかりする」「自分に厳しくする」のはなかなか難しいかもしれません。

しかし、いずれは社会で働くようになり、親から離れて生きていかななくてはいけない時が来ます。その準備として、今は「心を鍛えているところ」「社会に出るための準備をしているところ」と言えるでしょう。

大人になると社会に出て働くことになります。毎日が忙しく、いろいろと大変なことがあるでしょう。しかし、中学生とくらべると、少し自由になりますし、自分で使えるお金も増えるでしょう。でも社会で許されないことをすれば大変なことになりますから、自分で自分をしっかりとさせる、「自分を律する」必要があります。



中学生のみなさんは、犯罪をおかさなければ(盗み、暴力、悪質ないじめ等)逮捕されることはありませんが、大人はどんな軽い罪でも法に触れれば逮捕されたり、処罰されたりしますし、社会的な信用を失って仕事も失ってしまうことになります。

「このくらいいいじゃないか」と思いたくなる靴下の長さや髪形、服装や登下校の時刻を守ることなど、先生方が何度も繰り返し話をしてくださる、そういったきまり(ルール)は、実は、「何がいけないのか」「今、何をすべきなのか」「どんな服装がいいのか」「何を持ってきてはいけないのか」そういったいろいろなことを、自分自身で考え、判断するための練習をしているのです。きまり(ルール)以外でも、中学校という社会では、「これはしてはいけないな」「これを持ってきてはいけないな」「今はこんなことをしている場合ではないな」「今、これをしなければいけないな」というのを考える訓練をしているのです。

いつか社会に出て、「何が良くて、何がいけないのか」「この場面では、どんな服装がいいのか」「何が許されないのか」など、誰も注意をしてくれないことについて、自分で判断するための基礎を作っているのです。



「あいさつ」や「言葉遣い」「他人に対する思いやり」や「みんなで協力して何かを成し遂げること」「つらいけれど頑張ること」「嫌だけれど勉強すること」といった、今がんばっていること全てが、「自分で考えなければならぬ」「丁寧に教えてくれない」「自分で調べなくてはならぬ」「誰も叱ってくれない」そういった社会で、自分で考え判断していくための、大切な準備なのです。



さて、きまりが作られる時はどんな時でしょうか？ それは、きまりが必要になった時です。きまりは後(あと)から作られます。始めからきまりがあるわけではないのです。皆さん自身が「きまり」を増やすことがあるんですよ。

理想は、きまりが一つもなくとも、世の中の人々が誰も困らず、傷つかず、みんなが安心して暮らせるようになることでしょう。そんな世の中になるのは難しいことですが、皆さんなら、「きまりのない南中」を目指すことができますと思っています。